

令和7年度 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演事業）
 出演希望調書 No.1（共通）

オレンジ色

入力必須項目です。

みどり色

選択必須項目です。

制作団体名	株式会社アンエンターテイメント
公演団体名	大蔵流狂言 誠翔会

分野・種目

※応募する企画の主たる分野・種目を1つ選択してください。

分野・種目については、募集要領4ページを御参照ください。

分野	種目
伝統芸能	歌舞伎・能楽・人形浄瑠璃・邦楽・邦舞・演芸

取り組み（該当する取り組みに○を付してください。）

該当	取り組み
<input checked="" type="checkbox"/>	①障がいのある芸術家が活躍する取り組み
<input type="checkbox"/>	②字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障がいのある子供たちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取り組み

応募する取り組みが①である場合、芸術家が抱える障がいの種類

--

※採択を受けた場合、実施へ向けた調整に当たり、参考とさせていただきます。

応募する区分（該当する区分に○を付してください。）

該当	区分
<input type="checkbox"/>	◀D区分▶ 公演を中心とする企画
<input checked="" type="checkbox"/>	◀E区分▶ ワークショップを中心とする企画 ※ ワークショップの一環として実演を披露するものを含みます。

実施可能期間 ※原則として令和7年6月2日（月）～令和8年1月30日（金）まで

実施可能期間	<input type="checkbox"/>	全期間：令和7年6月2日 ～ 令和8年1月30日 ※夏休み、年末年始を除く	
	<input type="checkbox"/>	令和7年6月2日 ～ 令和8年1月30日	～
	<input type="checkbox"/>	～	～
	<input type="checkbox"/>	～	～
連日公演の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	←選択してください。	

実施可能地域 ※実施可能な地域名の前に○を付してください。（複数選択可）

該当	地域	都道府県	都道府県を限定される場合はこちらに御入力ください。
○	限定なし		
	北海道	北海道	
	東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	
	南関東	埼玉、千葉、東京、神奈川	
	北関東・甲信	茨城、栃木、群馬、山梨、長野	
	北陸	新潟、富山、石川、福井	
	東海	岐阜、静岡、愛知、三重	
	近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	
	中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	
	四国	徳島、香川、愛媛、高知	
	九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	
	沖縄	沖縄	

団体の概要

【制作団体について】

ふりがな	かぶしきかいしゃ あんえんたーていめんと		
制作団体名	株式会社アンエンターテイメント		
代表者職/氏名	代表取締役 高久照敏		
制作団体所在地	〒 104-0061		
	東京都中央区銀座7-13-6 サガミビル2階		
制作団体代表電話番号	050-3624-6767		
制作団体設立年月	2002	年	10 月
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 高久照敏 経理担当 宮田幸子	当団体の活動に賛同し、伝統芸能に携わる芸術家および関係者。構成員の過半数以上の認可により加入	
事務体制：事務（制作専任担当者の有無）		専任	
Webサイト等URL	https://www.wa-league.com/		
本事業担当者名	三隅雄亮	本件連絡先：電話番号	050-3624-6767
メールアドレス	school.an.sai@gmail.com		
経理処理等の監査担当の有無		有	
経理責任者名	宮田幸子		

【公演団体について】

ふりがな	おおくらりゅう きょうげん せいしょうかい
公演団体名	大蔵流狂言 誠翔会
代表者職／氏名	能楽師大蔵流狂言方 大蔵基誠
Webサイト等URL	https://www.kyogen.info/

特別支援学校等における活動実績や障がいを持った芸術家の活動を拡げる公演等の活動実績

平成28年、二階堂養護学校（天理市）にて「附子」「柿山伏」の本公演と体験ワークショップを実施。

平成29年、東大寺整枝園（奈良市）にて狂言体験ワークショップを実施。

平成28年、七条養護学校（奈良市）・帯広盲学校（北海道帯広市）にて「附子」「柿山伏」の本公演と体験ワークショップを実施。

令和2年度 文化芸術による子供育成事業～巡回公演事業～
山梨県立やまびこ支援学校

令和4年度 文化芸術による子供育成推進事業～巡回公演事業～
茨城県立境特別支援学校

令和5年度 文化芸術による子供育成推進事業～巡回公演事業～
千葉県立松戸特別支援学校、神奈川県立麻生養護学校

令和6年度 文化芸術による子供育成推進事業～ユニバーサル公演事業～実施中
東京都立田無特別支援学校

令和7年度 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（ユニバーサル公演事業）

出演希望調書 No.2（D区分）

オレンジ色 入力必須項目です。 **みどり色** 選択必須項目です。

制作団体名	株式会社アンエンターテイメント					
企画名	身体で感じる伝統芸能「大藏流子ども狂言」					
主な対象学年 <small>※複数選択は可能ですが企画内容と趣旨が異ならないようお願いいたします。</small>	<input type="radio"/>	小学校：低学年	<input type="radio"/>	小学校：中学年	<input type="radio"/>	小学校：高学年
	<input type="radio"/>	中学校・中等教育学校（前期課程）				
	<input type="radio"/>	特別支援：小学部	<input type="radio"/>	特別支援：中学部	<input type="radio"/>	特別支援：高等部
児童・生徒の鑑賞・体験可能人数の目安	1回の人		回数			
ワークショップ	※3回まで		50人		1	
本公演	※1校1回まで		600人		まで対応可	
企画の動画等の資料	PW					
URL	https://youtu.be/qZJ2cQFjYR8					

本公演について

主な演目	「附子」、「柿山伏」「菌（くさびら）」					
原作／作曲	古典芸能					
脚本	古典芸能					
演出／振付等	古典芸能					
公演時間 (分)	著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有			
		<input checked="" type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる			
		<input type="radio"/>	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無			
演目概要	① 挨拶・「狂言ってなあに？」・「附子」鑑賞ガイド（登場人物やあらすじ等を紹介） ② 狂言「附子」の上演 ③ 「柿山伏」鑑賞ガイド（登場人物やあらすじ等を紹介） ④ 狂言「柿山伏」の上演 ⑤ クイズコーナー○ ⑥ 狂言をみんなで演じよう！「菌（くさびら）」の共演○ ⑦ 質問コーナー○ ⑧ 感想発表 ※○は児童・生徒の共演、参加、体験 ※別添あり					
公演従事予定者の編成 (1公演あたり)	能楽師狂言方4名 舞台監督1名 合計5名					
公演に当たり 必要な会場条件	・舞台の設置場所	<input checked="" type="radio"/>	教室	<input type="radio"/>	体育館	
	・舞台に必要な広さ	間口7M 奥行4M 高さ3M				
	・電源容量（主幹ブレーカー容量）	100 A				
	・暗転の要否	<input checked="" type="radio"/>	要	<input type="radio"/>	不要	
	・その他					

会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込み		無	会場設営の所要時間		2	時間程度		
	到着	仕込み(開始・終了)		本公演(開始・終了)		内休憩	撤去(開始・終了)		退出
	9:00	9:00	11:00	13:00	14:30	0:00	14:30	15:30	15:30
ワークショップ同日開催の場合は、30分前倒して 11:00～ 30分位で対応									
派遣について	移動方法の制約等			なし					
	運搬規模			1tクラスの運搬車両					

ワークショップについて

内容
<p>①ご挨拶 指導者は紋付袴で体育館に集まった児童生徒の前に登場します。狂言に関して基本的な知識と日本の文化・伝統芸能について簡単に分かり易く説明します。</p> <p>②狂言「盆山」を解説をしながら鑑賞していただきます。</p> <p>-----以下は児童生徒の身体の状態にあわせてプログラムを構成します。</p> <p>③体験 次に体験を実施。稽古を始める前の挨拶(礼儀作法も含め)から基本姿勢と所作、動物の鳴き真似や擬音などの狂言ならではの表現法を解説と実演を交えて体験していただきます。</p> <p>④狂言「菌(くさびら)」のお稽古 本公演で共演する「菌(くさびら)」のきのこの精を全員で練習します。指導者より所作、発声など細部にわたって稽古をし、本公演での共演に臨んでいただきます。出演の代表児童生徒は複数のグループに分かれて練習します。</p> <p>⑤発表会と感想 練習を終えたグループごとに「菌(くさびら)」のきのこの精を発表します。 またワークショップに参加しての感想や本公演で共演することへの意気込みなどを質問していきます。</p> <p>※別添あり</p>
体制
<p>大藏基誠(主指導者1名) 田中惇之他1名(補助者2名)</p>
目的とする効果
<p>昔と今を知る:解説付きの鑑賞を通して、狂言への興味はもとより、約700年前の日本と現代との違い・共通点などを楽しく見つけて、歴史への興味、価値の多様性の発見につなげていただきたいと思います。</p> <p>自己表現の促進:ワークショップは、児童生徒が自己表現する場となります。狂言の表現を通じて、自分自身や自分の感情を表現する方法を見つけることができます。</p> <p>共感と結束の醸成:本公演の共演は、児童生徒同士や狂言師、先生、スタッフとの共感や結束を醸成する機会を提供します。共通の経験や困難を共有することで、お互いを理解し支え合う関係を築くことができます。</p> <p>自己成長と自己実現の促進:ワークショップは、児童生徒が自己成長や自己実現を追求する機会を提供します。新しいチャレンジや目標に取り組むことで、自己の可能性を広げることができます。</p>

企画全体について

当ユニバーサル公演事業を実施されるにあたり重点を置くポイントや工夫、対応について御入力ください。

企画のねらい

ユニバーサル公演事業は、障害のある児童生徒に学校教育の現場において、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を与える大変重要なプロジェクトです。次世代を担う子ども達には、なぜ私たちの生活に「伝統文化」や「芸術」が必要なのかを自分たちで考え、自分なりの答えを導き出して欲しいと考えております。無限にある回答を自分に置き換えて考えることは、想像力を育み人間形成に大きな役割を果たします。

その為に大蔵流狂言では、子どもたちの目線に立ち、難解な伝統芸能を解りやすく見ていただけるよう、構成・演出の工夫をしています。鑑賞後は、伝統芸能は面白いものとの認識し、日本の歴史に関心を高め創造力を育むことを目指し本事業に取り組みます。狂言だけではなくその地域独自に継承されている伝統的な事柄にも目を向けさせ、大切に継承し発展させる精神を育む効果が期待できます。

特別支援学校等での実施における工夫等

説明的要素を省き「感じて、楽しんで」もらえる構成にいたします。

体験、ワークショップなど参加型の場合は、各個人の障がいや身体状況を把握し、個別の対応を増やしたり、休憩を入れたり、説明を短縮するようにします。

本公演の演目はどれも15分以下ですので休憩のタイミングも要望に合わせて合わせる事ができます。

いずれも児童生徒に負担がかからない対応を行います。

提供する情報は文字化して、点字、手話通訳、画像、映像などに使用していただけるようにします。先生、介助者などの関係者のご意見をお伺いして進行していきます。

取り組み②で応募する場合、特に重点的に取り組んできた課題（障がいの種類等）

特別支援学校では、障がいの軽度や心身の発達段階などに合わせて体験ワークショップを実施してまいりました。狂言は、動物の携帯模写や擬音などを演者が自ら発声したり動いたりして実演する演劇です。猿やニワトリの動きなどコミカルな動作は、障がいを持った児童生徒にも指導者である狂言師と共に実践することが出来ます。

聴覚障がいの生徒児童には手話通訳やスクリーンを用いて解説いたします。また視覚障がいの生徒児童には装束に手で触れていただくなどの体験をしていただきます。そのほか体験者の障がいの状態や身体状況に合わせて所作、発声などのプログラムを作成します。

本公演では児童生徒の鑑賞体験を尊重しそれぞれが自分自身のペースで鑑賞できるように先生、介助者と協力して実施します。

協力・連携機関及び団体内における専門員の配置等

本事業の参加予定の大蔵流狂言師は全員特別支援学校でのワークショップ経験があります。

簡単な手話やジェスチャーを使いながらの解説等を交えて児童・生徒には鑑賞、体験してもらいます。

障害により手話通訳者、音声ガイドなど必要に応じて対応します。

本公演の様子



『附子』



『柿山伏』



解説



共演『菌』

ワークショップの様子



『盆山』



稽古初めの挨拶



共演のリハーサル



共演のリハーサル

【令和7年度学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業－ユニバーサル公演－実施条件等確認書（No.1）】

ID*	UNI7_13	企画名	身体で感じる伝統芸能「大蔵流子ども狂言」			
制作団体名	株式会社アンエンターテイメント			公演団体名	大蔵流狂言 誠翔会	

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等						応相談	
控室について	必要数*	1室	条件	体育館の舞台袖を片付けて下さい。				
前日仕込みについて*		なし	補足					
搬入について	来校する車両の大きさと台数*		バン	1台				
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細						/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ							
	搬入車両の横づけの要否*		不要					
	横づけができない場合の搬入可能距離*		問わない					
	搬入経路の最低条件		問わない					
	理由						/	
	設置階の制限*		問わない					
搬入間口について 単位：メートル		幅		高さ				
会場設営について	舞台設置場所*		体育館のステージ上					
	舞台設置に必要な広さ 単位：メートル		幅	8 m	奥行	3 m	高さ	3 m
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保*		要				
		舞台袖スペースの条件*		着替えるスペースがあれば				
		緞帳*	不要		バトン*	要		
	遮光(暗幕等)の要否*		不要		理由			
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は 経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動*		要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
		ピアノの事前調律*		不要				
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況*		格納されていれば可			
	公演に必要な電源容量		60A		※主幹電源の必要容量			
その他特記事項						応相談		

②会場図面(表記単位：メートル)

搬入間口について	幅	2	高さ	2
搬入車両の横づけの可否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

